



YASKAWA



# 株主のみなさまへ

## 第92回 事業ご報告

平成19年3月21日▶平成20年3月20日



機械と人間の共生へ — Quality & Beauty

株式会社 安川電機

(証券コード:6506)

# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社グループの当期業績は、期末にかけて急激な円高・ドル安の影響を受けたものの、売上高・利益とも過去最高を更新することができました。

その概要につきましてご報告いたします。

当期（前期比）	
売上高	3,823億27百万円（3.6%増）
営業利益	364億87百万円（8.7%増）
経常利益	352億12百万円（5.5%増）
当期純利益	202億42百万円（6.6%増）

当期における世界経済は、前半は概ね堅調に推移いたしました。後半は、米国の住宅ローン問題の影響や為替の急激な変動、原油価格の高騰などにより、景気の減速感が強まっております。

当期における当社グループの主要販売先の業界別動向はつぎのとおりです。

- ・空調業界及び鉄鋼業界は好調で、電子部品業界及び自動車業界は堅調に推移いたしました。
- ・液晶業界は、期の前半は調整局面が続きましたが、後半に至り投資再開の動きが出てまいりました。
- ・半導体業界では設備投資を控える動きが続きました。

このような環境の中で、当社グループは、中期経営計画“ダッシュ100”（基本方針：シェア・事業規模・収益性における真のグローバルNo.1事業の確立、新規

事業の立ち上げ・育成、売上高経常利益率10%の早期実現）の2年目にあたる当期を、その目標達成に向けて強力な地盤づくりを行う年と位置づけ、以下の施策を実施してまいりました。

- ・ACサーボ・コントローラ、インバータ及びロボット等のメカトロ製品群において、付加価値及び競争力を高めた新製品の市場投入を行い、拡販とシェアの拡大を進めました。
- ・当期中に竣工したインバータ新工場（ドライブセンタ）では、生産能力向上及び生産効率向上を実現するため、生産ラインの大幅な自動化及び効率化を実施いたしました。
- ・製品品質向上の活動強化、人材育成等の諸施策についても、従来に増して取り組みを強化いたしました。

当社グループでは、事業内容を5つのセグメントに分けております。各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

セグメントの名称	売上高（前期比）	営業利益（前期比）
モーション コントロール	1,778億99百万円 （11.5%増）	213億70百万円 （7.8%増）
ロボット	1,235億50百万円 （2.5%減）	85億76百万円 （4.5%減）
システム エンジニアリング	505億17百万円 （2.1%増）	39億40百万円 （2.17倍）
情報	231億83百万円 （12.4%減）	4億20百万円 （64.7%減）
その他	71億76百万円 （7.3%増）	20億64百万円 （10.1%増）

なお、当社業績につきましては以下のとおりで、売上高・利益とも過去最高を更新いたしました。

当期（前期比）	
売上高	2,196億93百万円（1.6%増）
営業利益	155億76百万円（10.2%増）
経常利益	204億34百万円（3.1%増）
当期純利益	145億83百万円（13.4%増）

このような業績をふまえ、期末配当につきましては1株につき5円とし、さきの1株につき5円の間配当とあわせ年間で1株につき10円とさせていただきます。

平成20年度は、中期経営計画“ダッシュ100”の仕上げの年として、その目標を達成すべく、以下の施策を実行してまいります。

- ・モーションコントロール事業では、平成19年度に市場投入したサーボモータ・インバータの新製品に加え、さらに品揃えを拡充し、他社の追随を許さない製品力でグローバルに販路を拡大してまいります。ロボット事業では、投資拡大の見込まれる液晶業界に注力するとともに、用途・地域別に戦略を再強化し、新製品投入で収益を拡大してまいります。
- ・成長市場である中国・アジア地域での戦略を強化するとともに、インドをはじめとするつぎの発展市場への展開を促進し、事業拡大を加速いたします。

- ・環境問題や省エネルギー志向の高まり、少子高齢化に伴う労働力不足への対応等、社会的な問題の解決に貢献する企業としての期待に応えるべく、当社の自動化・省エネルギー技術の応用展開や新世代ロボット等の新規事業に積極的に取り組み、スピーディに事業化を進めてまいります。
- ・従業員一人ひとりが常に高い目標に向かって挑戦し続ける自己啓発意識の高揚にも取り組むなど、引き続き人材育成にも努めてまいります。

以上のような諸施策により、米国を中心とした景気の減速や、為替の急激な変動、原油や資源価格の上昇等のリスクが懸念される中においても、売上・利益の持続的な拡大を実現してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

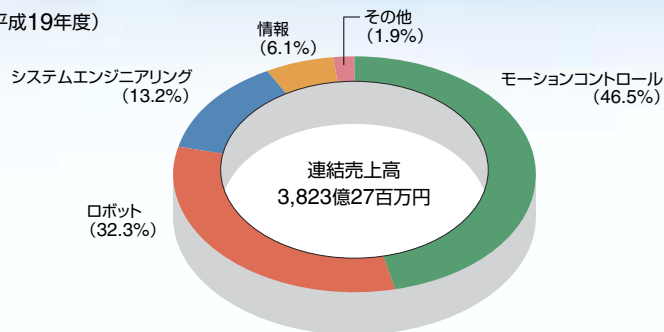


取締役社長

利島 康司

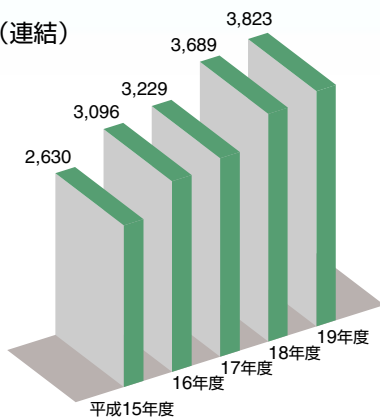
# 業績の推移

● 連結売上高の部門別比率 (平成19年度)



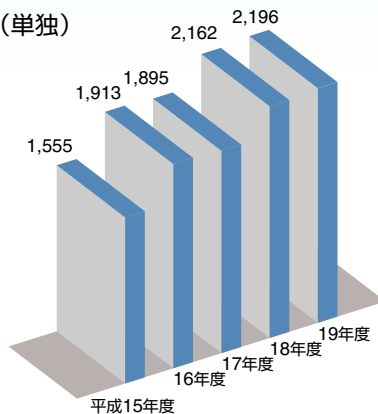
● 売上高 (連結)

単位: 億円



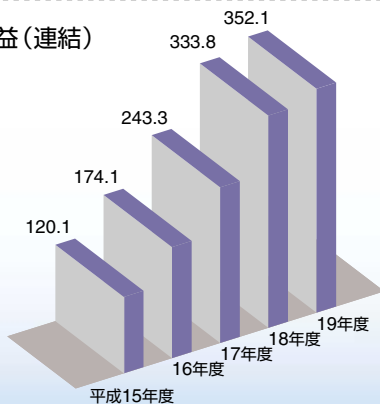
● 売上高 (単独)

単位: 億円



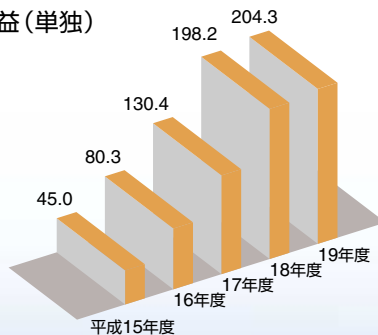
● 経常利益 (連結)

単位: 億円



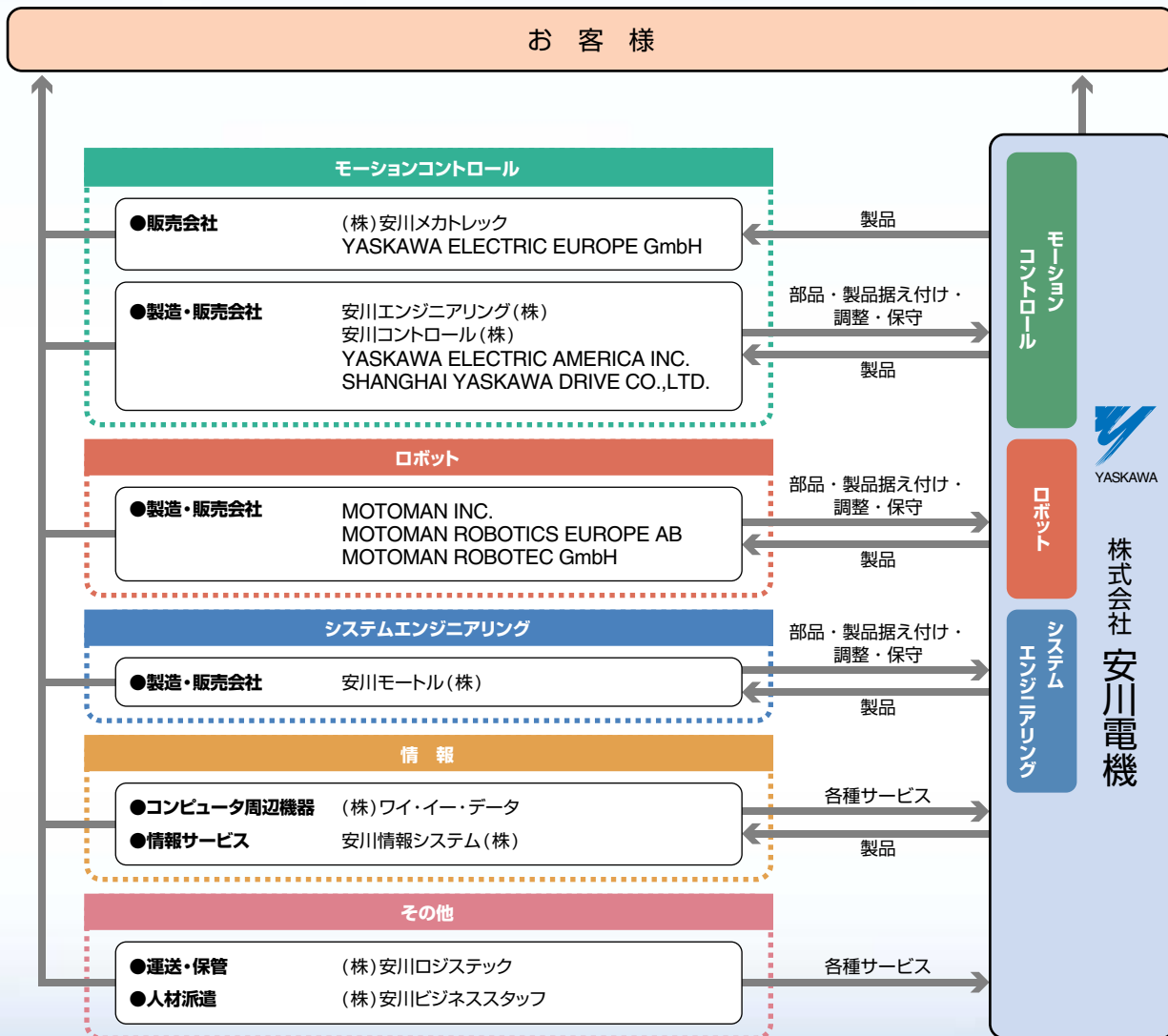
● 経常利益 (単独)

単位: 億円



# 当社グループの状況

当社グループは、当社を中核として子会社78社及び関連会社20社（平成20年3月20日現在）により構成され、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」「情報」「その他」の各部門の様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリングなどの事業展開を行っております。



(注) 上記の会社はすべて連結子会社であり、主要な会社のみ表示しています。  
株式会社 ワイ・イー・データ及び安川情報システム株式会社の2社は東京証券取引所第2部に上場しています。

業績の推移／当社グループの状況

## 部門別の概況

### モーション コントロール



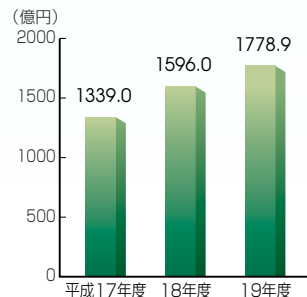
#### 主要製品

ACサーボモータ・制御装置	高速モータ	プログラマブルコントローラ
汎用インバータ	小形精密モータ	マシンコントローラ
工作機械用AC主軸モータ・制御装置	複合モータ	NCシステム
リニアモータ・制御装置	省エネモータ・インバータ	ビジョンシステム
DCサーボモータ・制御装置	高周波インバータ	その他

ACサーボ・コントローラは、新製品投入や拡販強化等の施策の効果もあり、電子部品業界向け等が堅調に推移し、液晶業界向けも需要回復の兆しが見えてまいりました。地域別では、欧州及びアジア向けが好調に推移いたしました。

インバータは、国内外の空調設備向けや海外におけるインフラ投資の拡大により、前年度に引き続き好調に推移いたしました。

#### 売上高の推移



### ロボット

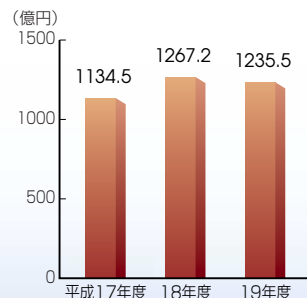


#### 主要製品

アーク溶接ロボット	特殊アクチュエータ
スポット溶接ロボット	クリーン・真空内搬送システム
塗装ロボット	ロボット応用FAシステム
ハンドリングロボット	医療・福祉サービスロボット
半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット	その他

自動車業界向けを中心とする溶接、ハンドリングロボット等は、欧州及び国内向けが堅調に推移し、液晶業界向けは、期後半に至り投資再開の動きが出てまいりました。しかしながら、半導体製造装置業界向けは投資抑制の影響を大きく受けるとともに、前期の米国子会社売却の影響を受けました。

#### 売上高の推移



## システム エンジニアリング



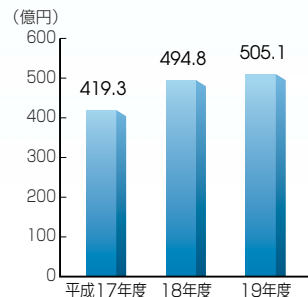
### 主要製品

鉄鋼プラント用電機システム	システム情報制御機器
上下水道用電気計装システム	中容量高圧インバータ
道路設備電源システム	高圧開閉装置
環境プラント用電機システム	コントロールセンタ
パワーメカトロシステム	システム用制御盤
港湾荷役用クレーン制御システム	電力用配電機器
紙・フィルム・繊維製造装置	永久磁石内蔵形回転機
印刷機械用可変速ドライブシステム	中大形誘導電動機

中形発電機及び発電装置  
その他産業用回転機  
その他

好調を続けている鉄鋼業界の設備投資増加を確実に受注・売上・利益に結びつける活動が奏効し、大幅に利益を拡大いたしました。

### 売上高の推移



## 情報・その他



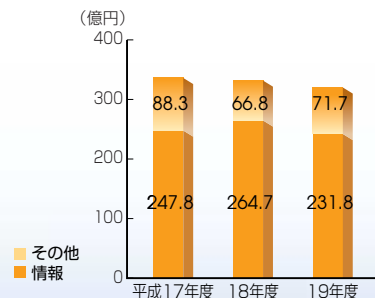
### 主要製品

情報	その他
フロッピーディスクドライブ	物流サービス
二次元コードマーキング・読取装置	人材派遣
情報処理ソフト及びサービス	その他
OA機器	
その他	

情報部門においては、製造業向け生産・販売管理システムや携帯電話事業者向けシステムの構築は堅調に推移いたしました。が、半導体・液晶業界向けの需要低迷や自治体向け通信基盤構築の案件減少の影響を大きく受けました。

その他の部門には、物流サービス、人材派遣等の事業が含まれております。

### 売上高の推移



### 新世代産業用ロボット MOTOMAN-SDA10

人に近い動きをする新世代産業用ロボットを業界で初めて量産化しており、既に累積出荷台数は約1000台に達しています。MOTOMAN-SDA10は、2007年12月より受注を開始した、クイック動作とスリムボディを持つ最新形ロボットです。自動車・電機・物流業界を中心に、組立作業や搬送作業への適用を積極的にご提案すると同時に、新たな適用分野の創出を行い事業の柱にしていまいります。

#### 特長

- 小物部品の組立現場で効率をあげるために、短い距離の動作時間を高速化
- 人に近いフォルムへとスリム化し、作業環境の変更が少なく置き換え可能



#### 新世代産業用ロボット ラインアップ



DIAシリーズ



DAシリーズ



SIAシリーズ



IAシリーズ



## 液晶ガラス基板搬送ロボット MOTOMAN-CDL3000D

最近の薄型テレビは、高精細フルハイビジョン対応、画面の大形化、低価格など熾烈な市場競争が行われており、生産効率の向上が求められています。MOTOMAN-CDL3000Dは、業界で初めて昇降軸にダブルリンク式支柱機構を採用し、第10世代と呼ばれる3m角(約タタミ6畳)\*のマザーガラス基板を高速・高精度で搬送することを実現しました。1997年から液晶ガラス基板搬送クリーンロボットの機種拡充をすすめており、それぞれの特長を生かしたロボットを市場供給することで更なるシェア拡大を図ってまいります。

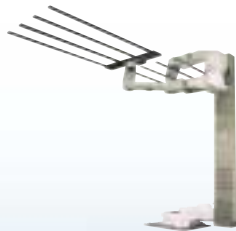
\*: 42インチの液晶画面を15枚作りだすことができる大きさ

### 特長

- ダブルアームで、可搬質量100kg/アーム
- 上下昇降ストローク4000mm
- 前後伸縮ストローク5200mm



### 液晶ガラス基板搬送ロボット ラインアップ



ECHシリーズ



CHLシリーズ



CSLシリーズ

### 小形・シンプルな汎用インバータ J1000

小形機械のインバータ市場では、インバータ自体の小形・低コスト・省エネ化が強く要求されています。こうした状況をふまえ、経済的に最適ドライブを実現するJ1000を販売開始しました。

究極の小形化、簡単操作や簡単設定に加え、環境対策として、標準製品でRoHS（欧州特定有害物質使用制限）指令に適合した安川インバータ「J1000」シリーズで、さらなる省エネニーズにお応えします。



### マシンコントローラ MP2310

当社のACサーボドライブとの組合せで、高速・高精度な動きを実現するマシンコントローラMPシリーズにMP2310が新たにラインアップしました。Ethernet標準装備により、タッチパネルや上位装置などの高速通信が可能となり、使いやすさを向上しています。



### 高圧マトリクスコンバータを 鉄鋼スキンパスミル設備へ納入

株式会社中山製鋼所様向け No.2 スキンパスミル設備でラインドライブ用途として高圧マトリクスコンバータを世界で初めて納入しました。中山製鋼所様では既設 No.1 スキンパスミルに加えて、No.2 スキンパスミルを増設することにより、生産量拡大と高級鋼比率向上を図るものです。本設備ではテンションリール設備（750 kW）に高圧マトリクスコンバータFSDrive-MX1Hを適用しました。2007年10月より、生産設備で順調に稼働し、高品質な製品づくりに貢献しています。



株式会社中山製鋼所様 スキンパスミル設備

安川情報システム株式会社

## 非装着・非接触な情報入力装置 「指差し入力インターフェイス」開発

当社が民生ロボット開発の中で確立したカメラ画像による物体認識や距離計測技術を応用し、指差しでの機器操作を可能とする非装着・非接触な情報入力装置「指差し入力インターフェイス」を福岡県工業技術センター様と共同開発しました。この「指差し入力インターフェイス」は、モニタ画面に接触することで情報入力されるタッチパネル式の入力装置と異なり、装置内のカメラが指先と指差しエリアを認識することにより装置のパネルに接触せずに情報入力を可能としました。今後は、高い安全・衛生環境を求められる医療分野や製造工場等において、情報入力作業が必要な場面での活用が期待されます。



指差し入力インターフェイス

株式会社 ワイ・イー・データ

## 小型フォトキオスク端末の新機種を販売開始

当社新製品3.5インチカードリーダー「YD-8V39」を搭載し、高い信頼性と操作性を実現した小型フォトキオスク端末「HYE-PS6000」を北菱フォト株式会社様と共同開発し、コンビニエンスストア向けに販売開始しました。



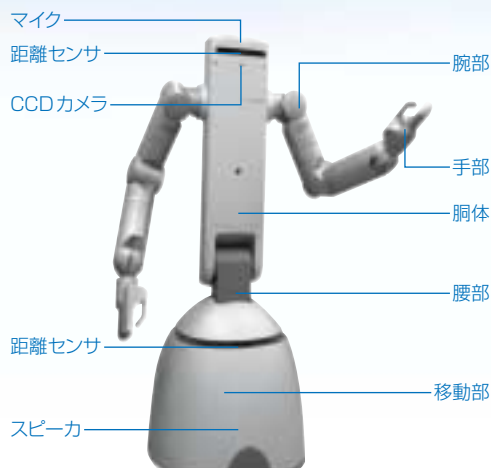
フォトキオスク端末 HYE-PS6000

## サービスロボット SmartPal V (スマートパル ファイブ)

「快適」「便利」「安全」といった生活の質的向上に寄与するため、サービスロボット（非製造業用業務支援ロボット）SmartPalを開発し、機能向上に努めてまいりました。このたび、新たに開発したSmartPal Vは、周囲に威圧感を与えないように体型をスリム化すると同時に、腰部の屈曲動作を可能にしました。床のものを取るなど、作業範囲が大幅に拡大しました。



床のものを取る動作

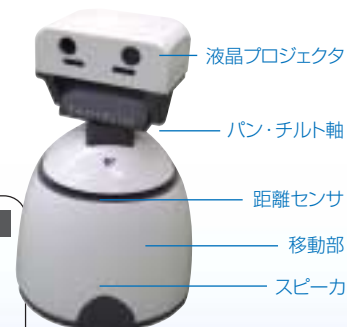


### SmartPal Vの主な仕様

- ・全高：132.5cm
- ・全幅：胴体21.2cm、移動部55.5cm
- ・全長：胴体18.5cm、移動部61.3cm
- ・重量：127kg（バッテリー含む）
- ・全21自由度（腕7×2、手1×2、腰2、移動3）  
（多指ハンドユニット装着時には37自由度）

## 案内ロボット SmartGuide (スマートガイド)

当社は今後もSmartPalの機能向上を進めるとともに、開発したユニットを組み合わせることで案内・搬送などの用途に向けた新たなサービスロボットの開発を継続します。その一例として、SmartPal Vの移動部ユニットと腰部ユニットを応用展開した案内ロボットSmartGuideを開発しました。液晶プロジェクトを搭載しており、映像表示と音声による案内を移動しながら行うことができます。



### SmartGuideの主な特長

- ・全高：83.6cm
- ・全幅：55.5cm
- ・全長（奥行）：61.3cm
- ・重量：90kg（バッテリー含む）
- ・全5自由度（パン・チルト2、移動3）
- ・液晶プロジェクトによる映像表示
- ・音声合成によるプレゼンテーション

TOPICS

1

ベッドサイド型下肢運動療法装置

## 「TEM LX2 typeD」が2007年度グッドデザイン賞を受賞

2003年3月の発売以来、医療機関、介護施設などでご好評をいただいているTEM LX2 typeD（以下、TEM）が、2007年度グッドデザイン賞（新領域デザイン部門）を受賞いたしました。TEMは脳卒中をはじめとする脳血管疾患患者がベッドに寝たまま運動機能の回復訓練ができるリハビリ支援ロボットで、少子高齢化が進みリハビリ提供不足が懸念されるなか、社会問題に対して、効率的にリハビリサービスをご提供できる提案型商品です。今後も生活・産業・社会の未来に向けて、人々の生活に貢献できる技術や製品を提供してまいります。



ベッドサイド型下肢運動療法装置  
TEM LX2 typeD



- ・グッドデザイン賞公式ホームページ

<http://www.g-mark.org/>

- ・TEMの詳細情報

<http://www.e-mechatronics.com/product/robot/medical/>

TOPICS

2

## 半導体ロボットが累計15,000台出荷達成

当社は1996年の超メカトロ事業部発足以来、半導体ウエハ処理技術の微細化・高速化など多様化する市場要求に合わせて、ウエハ搬送ロボットシステムをご提供しています。2007年7月には出荷台数累計15,000台を達成いたしました。

今後は主力製品であるSEMISTAR-Mシリーズを中心に、次の目標である50,000台出荷の早期達成を目指してシェアの拡大に努めてまいります。



SEMISTAR-Mシリーズ



## 展示会レポート

安川製品を出展した主な展示会をご紹介します。

展示会の様子や動画ムービーは、当社ホームページの製品・技術情報サイト“e-メカサイト”の「ショールーム」にてご覧いただけます。

e-メカサイトURL ▶▶ <http://www.e-mechatronics.com/>

### システムコントロールフェア2007

会期 2007年11月13日～11月16日

会場 東京ビッグサイト

システムコントロールフェアは、システム・FA機器の日本最大の展示会です。メインステージでは、主力製品であるACサーボドライブΣ-V、小形ベクトル制御インバータV1000をわかりやすく紹介し、大変好評でした。その他にも省エネ機器である高圧インバータ、高圧マトリクスコンバータの応用事例を数多く展示し、目標来場者数を1000名以上も上回る事ができました。

これを機会に新規開拓や受注拡大を図ってまいります。



出展コンセプト

次世代Eco&Safety  
～YASKAWAトータルソリューション～



### 2007国際ロボット展

会期 2007年11月28日～12月1日

会場 東京ビッグサイト

当社は、最大規模のスペースと注目度No.1の展示内容で、総合力をアピールしました。特にお客様の反響が大きかったのは、新形双腕ロボットMOTOMAN-SDA10の美しい形と華麗な組立て作業、10世代液晶ガラス基板搬送ロボットMOTOMAN-CDL3000Dの大きさとダイナミックな動きです。朝のテレビ番組でも紹介されたほか、国内外の報道関係者にも注目されました。

出展コンセプト

匠の技への挑戦



## セミコン・ジャパン2007

会期 2007年12月5日～12月7日

会場 幕張メッセ

半導体業界では世界最大規模の展示会です。当社は、半導体液晶用途で要求される低振動・高精度を実現した真空ロボットや、生産効率を向上する超大形液晶ガラス基板高速搬送ロボット、nmレベルの超精密な位置決め装置を展示し、技術力の高さをアピールしました。

出展コンセプト

半導体液晶用途の  
メカトロ&ロボティクスソリューション



展示会レポート

ドイツ

## ITMA2007 (国際繊維機械見本市)

2007年9月13日から1週間、ドイツのミュンヘンで開催されたITMA2007に初出展しました。この展示会は国際的な情報の発信源として重要な位置付けにあり、149カ国から約12万人が来場しました。当社は、繊維市場向けソリューションとして特別に設計した「インバータの水冷装置」と高精度をPRする「Σ-Vサーボシステム」を展示しました。ここでの新たなビジネスチャンスを生かして、新規開拓に努めてまいります。



## 連結財務諸表（要約）

### ● 連結貸借対照表（平成20年3月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>204,561</b>	<b>流動負債</b>	<b>140,205</b>
現金及び預金	12,004	支払手形及び買掛金	74,370
受取手形及び売掛金	110,473	短期借入金	26,256
有価証券	20	未払費用	19,152
たな卸資産	57,902	未払法人税等	8,337
繰延税金資産	7,504	役員賞与引当金	223
その他流動資産	17,634	その他流動負債	11,865
貸倒引当金	△ 978	<b>固定負債</b>	<b>42,546</b>
<b>固定資産</b>	<b>84,644</b>	長期借入金	7,573
有形固定資産	41,079	退職給付引当金	33,607
建物及び構築物	18,460	役員退職慰労引当金	823
機械装置及び運搬具	10,491	その他固定負債	541
土地	7,551	<b>負債合計</b>	<b>182,751</b>
その他有形固定資産	4,576	<b>純資産の部</b>	
無形固定資産	6,788	<b>株主資本</b>	<b>98,343</b>
のれん	1,546	資本金	23,062
ソフトウェア	4,209	資本剰余金	18,652
その他無形固定資産	1,032	利益剰余金	56,988
投資その他の資産	36,776	自己株式	△ 359
投資有価証券	19,334	<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,518</b>
長期貸付金	306	その他有価証券評価差額金	1,607
繰延税金資産	13,790	繰延ヘッジ損益	△ 10
その他投資	4,342	為替換算調整勘定	921
貸倒引当金	△ 998	<b>少数株主持分</b>	<b>5,592</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>106,454</b>
<b>資産合計</b>	<b>289,206</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>289,206</b>

### ● 連結損益計算書

（単位：百万円）

自平成19年3月21日 至平成20年3月20日	
<b>売上高</b>	<b>382,327</b>
売上原価	271,725
<b>売上総利益</b>	<b>110,601</b>
販売費及び一般管理費	74,113
<b>営業利益</b>	<b>36,487</b>
<b>営業外収益</b>	<b>2,230</b>
受取利息及び配当金	537
持分法による投資利益	1,195
雑収入	497
<b>営業外費用</b>	<b>3,505</b>
支払利息	1,137
為替差損	2,066
雑支出	301
<b>経常利益</b>	<b>35,212</b>
<b>特別利益</b>	<b>149</b>
固定資産売却益	7
投資有価証券売却益	24
その他特別利益	117
<b>特別損失</b>	<b>1,066</b>
固定資産廃却損	253
投資有価証券評価損	150
減損損失	301
その他特別損失	361
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>34,295</b>
法人税、住民税及び事業税	13,432
過年度法人税等追徴税額	604
過年度未払法人税等戻入額	△ 262
法人税等調整額	△ 38
少数株主利益	317
<b>当期純利益</b>	<b>20,242</b>



## ● 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

自平成19年3月21日 至平成20年3月20日											
	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成19年3月20日残高	19,953	15,489	38,736	△ 282	73,897	4,619	△ 8	2,280	6,890	5,454	86,242
<b>連結会計年度中の変動額</b>											
新株予約権の行使	3,108	3,091			6,199						6,199
剰余金の配当			△ 1,990		△ 1,990						△ 1,990
当期純利益			20,242		20,242						20,242
自己株式の取得				△ 103	△ 103						△ 103
自己株式の処分		71		26	98						98
連結子会社増加による増加			0		0						0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 3,012	△ 1	△ 1,358	△ 4,372	138	△ 4,234
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	<b>3,108</b>	<b>3,163</b>	<b>18,252</b>	<b>△ 77</b>	<b>24,446</b>	<b>△ 3,012</b>	<b>△ 1</b>	<b>△ 1,358</b>	<b>△ 4,372</b>	<b>138</b>	<b>20,212</b>
平成20年3月20日残高	23,062	18,652	56,988	△ 359	98,343	1,607	△ 10	921	2,518	5,592	106,454

(注) 平成19年6月に第91期期末配当(1株につき3円)、同年12月に第92期中間配当(1株につき5円)をお支払いいたしました。

# 連結財務諸表（要約）

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

自平成19年3月21日 至平成20年3月20日	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	34,295
減価償却費	7,676
減損損失	301
退職給付引当金の増減額	△ 1,342
投資有価証券売却益	△ 24
投資有価証券評価損	150
受取利息及び受取配当金	△ 537
支払利息	1,137
売上債権の増減額	△ 17,795
たな卸資産の増減額	△ 714
仕入債務の増減額	5,449
未払金の増減額	435
その他	△ 284
小計	28,748
利息及び配当金の受取額	960
利息の支払額	△ 1,143
法人税等の支払額	△ 10,876
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>17,688</b>

自平成19年3月21日 至平成20年3月20日	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産等の取得による支出	△ 9,116
有形固定資産等の売却による収入	174
投資有価証券等の取得による支出	△ 1,252
投資有価証券等の売却による収入	50
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	165
その他	44
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 9,933</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額	3,287
長期借入による収入	5,435
長期借入金の返済による支出	△ 5,359
社債の償還による支出	△ 10,000
配当金の支払額	△ 1,990
少数株主への配当金の支払額	△ 180
その他	17
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 8,790</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 341</b>
<b>現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>△ 1,377</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>13,214</b>
<b>新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加</b>	<b>27</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>11,864</b>

# 単独財務諸表（要約）

## ● 単独貸借対照表（平成20年3月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>122,784</b>	<b>流動負債</b>	<b>92,954</b>
現金及び預金	5,184	支払手形	5,323
受取手形	7,174	買掛金	45,570
売掛金	66,167	短期借入金	13,635
製品	14,038	未払金	2,106
半製品	934	未払費用	10,677
原材料	4,414	未払法人税等	4,495
仕掛品	4,481	前受金	1,304
前渡金	151	預り金	9,535
繰延税金資産	2,450	役員賞与引当金	151
未収金	2,390	その他流動負債	154
短期貸付金	4,629	<b>固定負債</b>	<b>32,418</b>
その他流動資産	12,808	長期借入金	6,820
貸倒引当金	△2,042	退職給付引当金	25,064
		役員退職慰労引当金	533
<b>固定資産</b>	<b>72,550</b>	<b>負債合計</b>	<b>125,373</b>
有形固定資産	25,377	<b>純資産の部</b>	
建物	10,999	<b>株主資本</b>	<b>68,375</b>
構築物	661	資本金	23,062
機械装置	6,586	資本剰余金	18,498
車輛運搬具	45	資本準備金	18,491
工具	1,196	その他資本剰余金	6
器具及び備品	513	利益剰余金	27,078
土地	4,354	その他利益剰余金	27,078
建設仮勘定	1,020	繰越利益剰余金	27,078
無形固定資産	4,783	自己株式	△263
施設利用権	2	<b>評価・換算差額等</b>	<b>1,586</b>
ソフトウェア	3,900	その他有価証券評価差額金	1,597
その他無形固定資産	880	繰延ヘッジ損益	△10
投資その他の資産	42,389	<b>純資産合計</b>	<b>69,961</b>
投資有価証券	12,964	<b>負債・純資産合計</b>	<b>195,334</b>
関係会社株式	14,247		
出資金	1		
関係会社出資金	2,683		
長期貸付金	463		
繰延税金資産	10,591		
その他投資	2,398		
貸倒引当金	△962		
<b>資産合計</b>	<b>195,334</b>		

## ● 単独損益計算書（単位：百万円）

自平成19年3月21日 至平成20年3月20日	
<b>売上高</b>	<b>219,693</b>
売上原価	168,432
<b>売上総利益</b>	<b>51,260</b>
販売費及び一般管理費	35,684
<b>営業利益</b>	<b>15,576</b>
<b>営業外収益</b>	<b>7,325</b>
受取利息及び配当金	7,217
雑収入	108
<b>営業外費用</b>	<b>2,467</b>
支払利息	286
社債利息	160
債権売却損	126
為替差損	1,830
雑支出	63
<b>経常利益</b>	<b>20,434</b>
<b>特別利益</b>	<b>1,262</b>
固定資産売却益	3
貸倒引当金戻入益	1,152
その他特別利益	106
<b>特別損失</b>	<b>767</b>
固定資産廃却損	214
投資有価証券評価損	120
減損損失	301
その他特別損失	131
<b>税引前当期純利益</b>	<b>20,929</b>
法人税、住民税及び事業税	5,857
過年度法人税等追徴税額	478
過年度未払法人税等戻入額	△243
法人税等調整額	253
<b>当期純利益</b>	<b>14,583</b>

### 第92期（自平成19年3月21日 至平成20年3月20日）配当について

<b>中間配当</b>	1株につき	5円
<b>期末配当</b>	1株につき	5円
<b>年間</b>	1株につき	10円

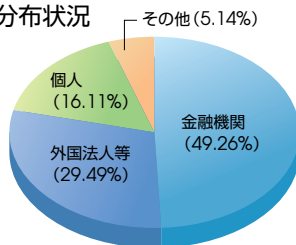
## 株式の状況 (平成20年3月20日現在)

発行可能株式総数 …………… 560,000 千株  
 発行済株式の総数 …………… 252,331 千株  
 株 主 数 …………… 19,234 名

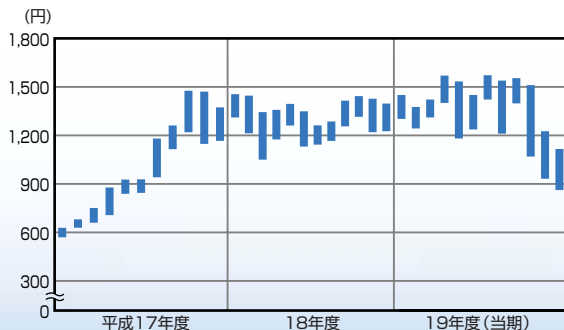
主要大株主	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	21,904 千株	8.69%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,371 千株	6.89%
株式会社みずほコーポレート銀行	9,473 千株	3.76%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,967 千株	3.16%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.69%
ビービーエイチ ルクスフィデリティファンズジャパンファンド	4,108 千株	1.63%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505211	3,806 千株	1.51%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	3,696 千株	1.47%

(注) 出資比率は、自己株式を控除して算定しております。

### 所有者別株式分布状況



### 当社株価の推移



(注) 東京証券取引所における月別の高値、安値を表示しています。

## 役員 (平成20年6月18日現在)

取締役会長	中山 眞
取締役社長	利島 康司
取締役副社長	武井 紘一
常務取締役	鬼頭 正雄
常務取締役	岩田 定廣
常務取締役	沢 俊裕
取締役	佐藤 光昭
取締役	宮原 範男
取締役	清水 喜文
取締役	宇佐見 昇
取締役	後藤 英樹
取締役	津田 純嗣
取締役	中村 公規
取締役	小笠原 浩
取締役	本松 修
取締役	村上 周二
取締役	南 善勝
常任監査役(常勤)	堀田 忠和
監査役(常勤)	実松 敏文
監査役	江口 宏
監査役	三井 康誠

## 株主メモ

事業年度	毎年3月21日から 翌年3月20日まで	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(配当金受領) 株主確定日	毎年3月20日(期末配当金) 毎年9月20日(中間配当金)	(郵便物送付先) 電話照会先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-288-324
公告掲載新聞	日本経済新聞	同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
上場金融商品取引所	東京・福岡		

### ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。  
<http://www.yaskawa.co.jp/>

株式の事務手続き(届出住所・印鑑・姓名等の変更、株券失効の申請、配当金振込指定、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、名義書換請求等)書類のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

### みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル 0120-288-324

インターネット <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

## 会社の概要 (平成20年3月20日現在)

商号 株式会社 安川電機  
英文社名 YASKAWA Electric Corporation  
設立 大正4年7月16日  
従業員 8,347名(連結) 2,809名(単独)  
事業所 本社 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号  
電話(093)645-8801  
東京支社 〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号  
電話(03)5402-4502  
名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号  
電話(052)581-2761  
大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号  
電話(06)6346-4500  
九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号  
電話(092)714-5331  
工場等 八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所  
入間事業所・小倉事業所

### 国内関連会社

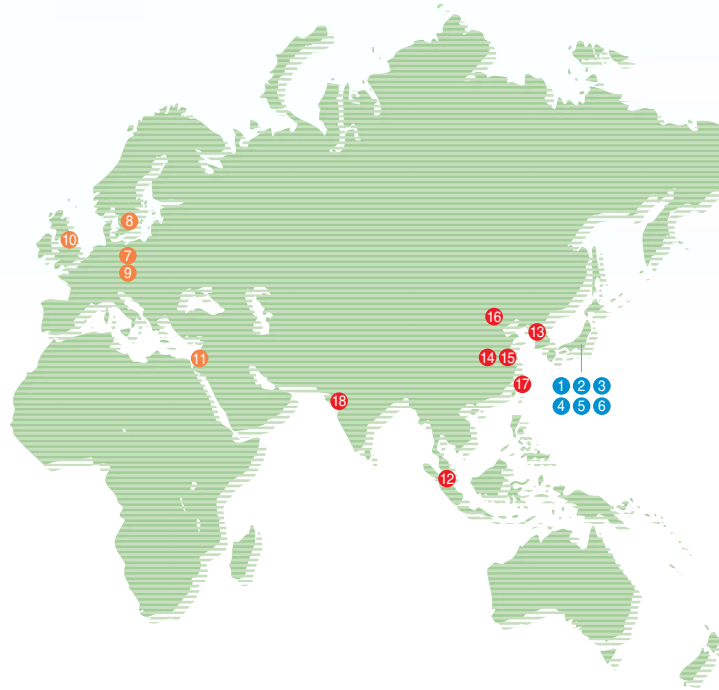
#### JAPAN

- 1 株式会社 ワイ・イー・データ  
電算機周辺・端末機器の製造・販売ならびに  
Ontrack(オントラック)データ復旧サービス
- 2 安川情報システム株式会社  
計算処理受託・ソフトウェア開発ならびにシステム機器販売
- 3 安川コントロール株式会社  
電気機械器具及びその部品の製造及び販売
- 4 安川エンジニアリング株式会社  
電気機械設備の保全・整備及び技術指導
- 5 株式会社 安川ロジステック  
製品の保管・輸送等の物流サービス
- 6 安川モートル株式会社  
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売

### 海外関連会社

#### EUROPE

- 7 YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- 8 MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)  
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- 9 MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)  
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- 10 YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)  
インバータの製造・販売・サービス
- 11 YASKAWA ESHED TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)  
モーションコントロール製品の開発及び製造

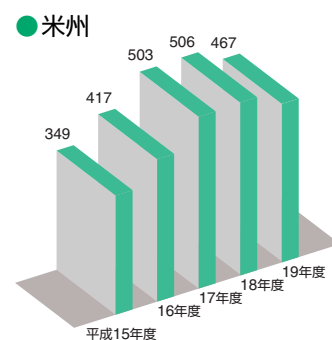
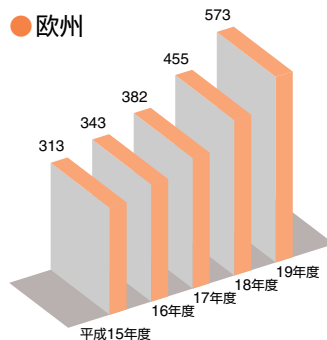
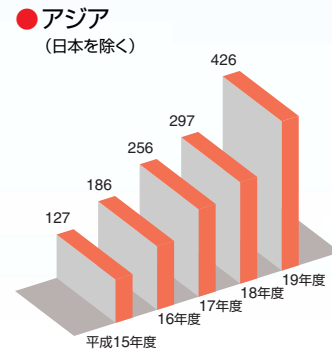
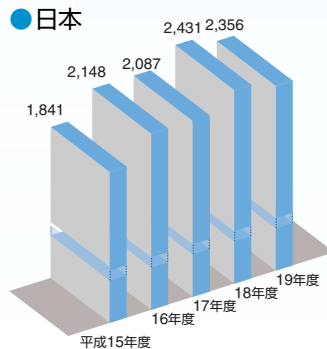
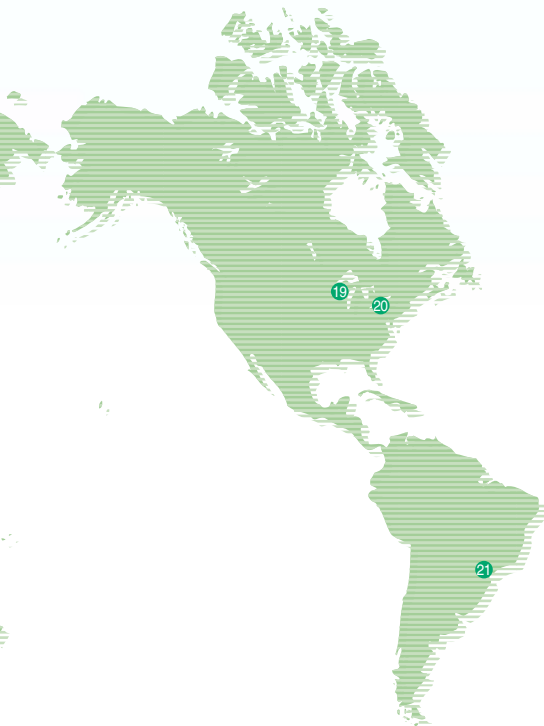


#### ASIA

- 12 YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- 13 YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- 14 YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD. (中国)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- 15 SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)  
電気機器の製造・販売

## 会社所在地別・売上高の推移

単位:億円



### ASIA

- ⑯ SHOUANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD. (中国)  
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ⑰ YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- ⑱ MOTOMAN MOTHERSON ROBOTICS LTD. (インド)  
ロボット及びロボットシステムの販売・サービス

### AMERICA

- ⑰ YASKAWA ELECTRIC AMERICA INC. (アメリカ)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- ⑳ MOTOMAN INC. (アメリカ)  
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ㉑ YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL LTDA. (ブラジル)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス



YASKAWA



- 古紙を含んだ再生紙を使用しています。
- 環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。